

平成 21 年度



茶山 城下町づくりを語る会 かわら版

第 2 号

※「茶山 城下町づくりを語る会 かわら版」は、浦添グスク周辺にふさわしいまちづくりについて、検討内容を地域住民の皆さまへ紹介し、今後の茶山地区のまちづくりについて情報共有や共通理解を図るため作成しています。

第 2 回 「茶山 城下町づくりを語る会」を開催しました

第 2 回「茶山 城下町づくりを語る会」は、平成 22 年 1 月 22 日（金）に開催し、『将来の姿(望ましい姿)と具体的な取り組みをみんなで考えよう！』をテーマに、茶山地区が将来どのようなまちになっていることが望ましいのか、また、それを実現するにはどのような取り組みが必要なのかをワークショップを通して地域の皆さまと意見交換しました。

ワークショップの各グループの発表概要

2 つのグループに分かれてワークショップを行った後、それぞれのグループの代表者が各グループで出てきた主な意見等の発表を行いました。概要については 裏面 に掲載しています。



ワークショップの様子

【第 3 回「茶山 城下町づくりを語る会」開催のお知らせ】

次回は、「将来の姿と具体的な取り組み(案)についてみんなでまとめよう」をテーマに、茶山地区の将来像と理念、具体施策のとりまとめやまちづくりの方向性などについて検討します。将来、茶山地区を魅力的なまちにするために、多くの方々の参加をお待ちしております。

日時：平成 22 年 2 月 19 日（金） 19:00~21:00

場所：茶山自治会事務所

お問い合わせ：浦添市 美らまち推進課（電話：876-1234(内線 4064)、FAX:879-7138)

(将来のまちづくりのスローガン(複数案))

○城下町にふさわしいまちなみ茶山 ○歴史的に由緒あるまち ○心かよいみんなでつくる城下町
○歴史と緑と花のあふれる心のまち ○みどりと心豊かな城下町茶山 ○緑の城下町
○緑豊かな美しいまちなみ ○緑豊かな住みよいまち ○“人と環境”調和のとれたまち 等

将来の望ましい姿(※望ましい「まち」の状態やめざすべき方向)

＜まちなみの向上＞	＜地域資源の保全・活用＞	＜生活環境の向上＞	＜地域コミュニティの交流促進＞
・昔の王朝時代を思わせるような赤瓦屋根のまちなみになっている ・緑豊かで目で見て楽しめるまち ・浦添城の城下町としての歴史や雰囲気を感じることができ茶山になっている など	・城下町にふさわしい緑豊かな情緒あるまちになっている ・各家庭に実のなる木、花の咲く木などを植えられている ・周辺地域と一体となった緑のネットワークが形成されている ・茶山御殿が復元され、多くの市民や観光客が訪れ、賑わいのあるまち など	・道路の整備等により沖縄で最も安全に住みよいまちを目指している ・交通事故がなく、事件・事故のない安心・安全なまち ・住宅環境や団地内の利便性が向上している など	・茶山地区を訪れた方々に誇りを持って自慢・紹介できる心豊かな茶山人を育てている ・隣近所同士が気軽に往来でき、信頼関係に基づいた、安心・安全なまちとなっている など

具体的な取り組み(※将来の望ましい姿(上記)を実現するための行動や施策)

＜まちなみの向上＞	＜地域資源の保全・活用＞	＜生活環境の向上＞	＜地域コミュニティの交流促進＞
・赤瓦屋根の普及促進等 ・屋敷の塀をブロックから石積みに変える ・道路に面するブロック塀等の壁面緑化や中通り沿道の塀を低くする等 ・中通りのブロック塀を利用して、歩きながら茶山の歴史が分かるような絵や図を描き、目で見て楽しめるまちづくりを行う ・茶山全体で城下町にふさわしい色(色彩)の工夫 ・電柱を地中化する など	・斜面緑地の保全等 ・茶山団地の周辺に桜・梅・椿等を植えて緑に囲まれたまちをつくる ・各班の通りに名前をつけ、シンボルロードづくりを行う ・茶山御殿の復元や石碑の設置 ・茶山御殿跡地を整備して公園にする ・「茶山御殿を復元する会」を結成し、市民が一体となって茶山御殿の復元を目指す など	・中通りの通過車両の規制 ・中通りの車道を狭くし、車いすが通れる広さの歩道を広くする ・中通りの道路を改良し、道路空間を一体となった沿道景観をつくり出す など	・「ぼくの木、わたしの木」として、子どもたちが地域に木を植える ・茶山の歴史・文化等に関する読本づくり ・子供会の活性化を図る ・青年会活動が盛んになると良い ・清掃活動等に年配の方々と一緒にあって若い人達にも参加してほしい ・自治活動組織の見直しと人材育成 ・各家庭の塀を低くしてコミュニケーションを図る など